

# DOUSEI Report of Akihiko Mukai

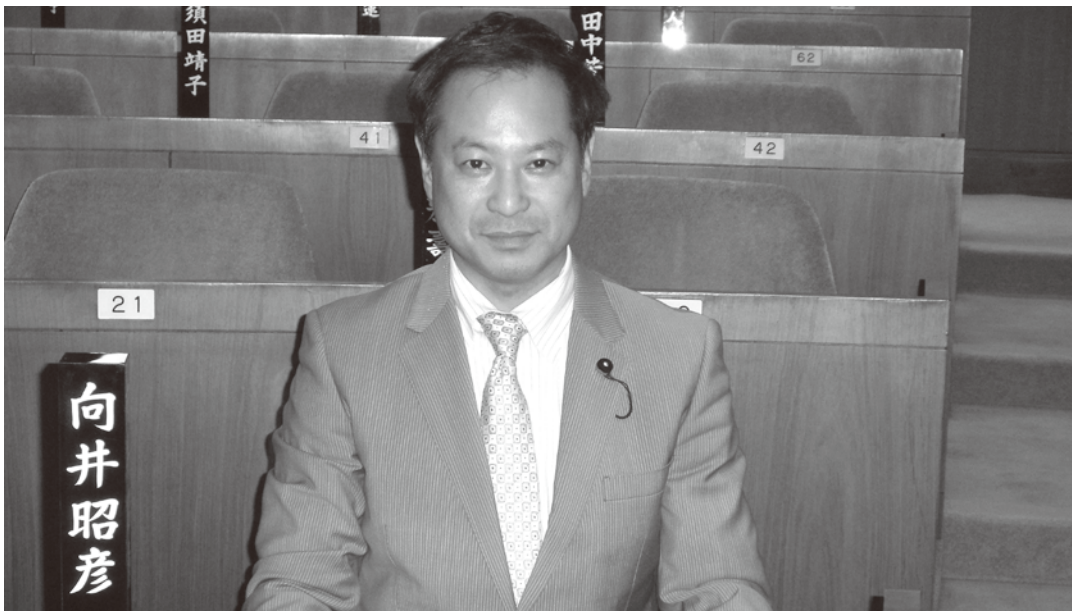
TEL 011-299-2361  
FAX 011-299-2971  
MAIL aki.mukai@palette.plala.or.jp

# 向井昭彦



## むかい昭彦の道政報告

発行:むかい昭彦道政事務所 TEL011-299-2361 FAX011-299-2971  
〒001-0028 札幌市北区北28条西4丁目2番12号YMノース28 1F



### 「挨拶」

ついに「勝利」です!!

皆さんのお力をお借りして、4年越しの悲願を達成することが出来ました。

民主党公認の新人の当選は、豊平区・松山丈史氏と私を含め4人だけ。私と松山氏以外はいわゆる「後継候補」であることを考えると、【民主党にとって、いかに厳しい選挙であったか!】が想像出来ると思います。

3・11東日本大震災・福島第二原発事故の影響で自粛モードの中、選挙戦は停滞。現職有利の風向き。投票率も下がり、北海道知事・札幌市長の首長選挙はどちらも大差で現職の勝利に終わりました。

選挙戦の9日間もあつという間でした。途中、雨もあり雪もあり、比較的、風の冷たい選挙戦だったような気がします。

遊説スタッフの頑張り。電話作戦の頑張り。後援会女性部の手作りの温かい夕食など。何とか苦しい選挙戦を乗り越えることが出来ました。最初はこんなんで選挙になるのか? というような状態だった「ウグイス嬢」も、日増しに上手くなり、最後には心のこもった絶叫となりました。

遊説のルート作り、街歩き作戦も毎日が勝負。中には地下鉄乗車作戦も。朝・晩の駅立ち。ご挨拶も実行しました。悔いの無いように、「とにかく出来ることは全部やる!」遊説スタッフの姿勢。普段、運動不足の46歳には結構堪えるものもありました(笑)

しかし、何とかやり切つての勝利です。

振り返ってみると、本当に色々な事が走馬燈のように蘇ってきますが、長いようで短かった「浪人生活」の4年間。今回の結果で苦しかったことも、全てが報われました。これまでの皆様の温かい御支援・御指導に心から感謝申し上げます。

そして、これからが本当の勝負! 道民の皆さんの為に精一杯頑張ります。

今後とも大きな御支援の輪を広げて頂きますよう、心からお願い申し上げます!!

# 初めての一般質問の要旨

## 1. 泊原子力発電所に係る安全対策について

### ① 避難道路の確保について

地元4町村にとっては長年の課題である、国道以外の避難道路の整備について道の考えを質しました。福島第一原発事故を受けて、避難道路の確保は「喫緊の課題」となった事は明らかです。

### ② オフサイトセンターについて

福島第一原発事故の事故を受け、共和町宮丘に所在する「北海道原子力環境センター」は泊原発から僅か2kmしか離れておらず、ひとたび原発で事故が起きた時にはオフサイトセンターとしての機能が

を成し得ないことを質しました。

しかし、これも道の姿勢は国任せ。しっかりと北海道としての方針が必要です。

### ③ ラジオの難聴対策について

災害時、特に電源が失われた時に頼りになる情報はラジオ。このラジオの受信状態が良くない地元・岩手4力町村の難聴対策を、総務省所管だと放っておくのでは無く、北海道としてしっかりと取り組みを行うべきだ、と質しました。

道としても具体的な検討を進めていく、との答弁でした。

## 2. 観光対策について

### ① 外国人観光客へのIT機器導入について

福島第一原発事故の風

評被害によって観光客が激減している道内。その対策の一つとして外国人観光客のリピーターを増やす

為には、iPadのようなIT機器をコミュニケーションツールとして導入し、おもてなしの心を充実させる必要が有る、と質しました。

道としても取り組みを強化することを表明しました。

### ② 長期滞在型観光への取り組みについて

北海道観光が大きな転換点を迎えている今、これまでからの点から点の「通過型観光」では無く、一つの地点から足を伸ばしていく「滞在型観光」へとシフトして行く必要性和環境の整備を道が率先して行うべきだ、と質しました。

道も滞在型観光の推進に努めているとの認識ですが、まだまだ実効性が問われます。

## 3. 食育の取り組みについて

### ① 学校と家庭での食育の取り組みについて

私の政治家としての大きなテーマの一つである「食育」の考え方を道に質しました。まずは北海道にもっと食育を浸透させることによって、それが規則正しい生活、学力の向上にも繋がること。栄養教諭の配置のあり方についても教育長の見解を質しました。

教育長も食育の重要性を踏まえ、全市町村における栄養教諭の任用を早期に進めることを明言しました。

### ② 北海道としての食育に対する取り組みについて

食育基本法に則った食育推進計画の策定を北海道179市町村で進める必要性、また、食育を主管する部署が、農政部・水産林務部・教育庁と分かれている体制で、道が食育を浸透させることが出来るのか？質しました。

知事は、食育が全道各地にさらに広がっていくよう努めること、食育推進計画の策定促進に努めることを表明しました。

### \* 質問を終えて

少し緊張したものの再々質問まで、初めての割には、結構落ち着いて出来たと思います。

一般質問の様子は下記URLで録画放送を見られますので、是非ご覧下さい！

与党（自民党・公明党）の質疑では再質問・再々質問は一切ありませんでした。しかし、答弁内容は野党には厳しく、与党には「花を持たせる」。そんな知事の姿勢がよく分かりました。

マスコミ関係者によると、特に二年生議員には、なかなか良い答弁をくれないんだとか：そんなことに負けていられません。まだまだこれから。しっかり頑張ります！

定数:4人

## 開票結果集計表

平成23年4月10日執行

北海道議会議員選挙 北区

候補者名	北区 特票数
当 道見 しげのぶ (自由民主党)	23,725
当 吉川 たかまさ (自由民主党)	23,169
当 佐藤 ひでみち (公明党)	20,342
当 むかい 昭彦 (民主党)	17,026
佐藤 のり子 (市民ネットワーク北海道)	14,537
岡 ちはる (日本共産党)	12,982
えびな 清悦 (民主党)	12,251
谷口 信司 (無所属)	4,053
得票総数	128,085

当日有権者数 224,819 投票率 58.78%

# 第17回統一地方選挙 北海道議会議員選挙結果

17,026票。全国的な「民主党に対する逆風」の中、札幌市北区・定数4人の4番目とは言え、前回から3000票増やしての勝利。「3人立候補」と言う全道でも「指折りの激戦区」の中、健闘と言えるところでは無いでしょうか。

皆様の「支援ありがとうございました」。

## エッセイ

## むかい昭彦の思うこと ①

essay

## 「先生」と「伏魔殿」

「先生」とは学校などの教育機関、あるいは塾において、勉強などを教える者のこと。教員の呼び方。その他、政治家・芸術家・医師・弁護士 の職業に就く者も、先生と呼ばれることもある。(ウィキペディアより)

政治家に対する「先生」と言う呼び方。一体何時から、何の為に始まったのでしょうか？

4月に北海道議会議員に初当選させて頂いて以来、最も戸惑ったのが「先生」という言葉です。特に議会内では道職員が必ず道議を「先生」と呼びます。外では稀なのですが、半分冗談めかして「先生」と呼ぶ方もいます。私は必ず「先生」は止めて下さいとお願ひするのですが、議会内では慣例で呼

ばない訳には行かないとか：

その為、北海道議会という限られた箱の中(「伏魔殿」)で「先生」と呼ばれ続け、自分が偉くなつたと勘違いする輩がどれほどいたのでしょうか…

最近、元衆議院議員でタレント活動をしている方が目立ちますが、彼こそその典型ではないでしょうか。志も無く、間違つて代議士になつてしまったものだから、浮かれて問題発言を連発していた彼を思い出してしまいました。

議会に足を運び始めて2ヶ月が経ち、「先生」と呼ばれることに慣れてきた自分もいますが、「決しておごつてはいけな

い」と常に自戒しています。道議会議員は104名。対する道職員(知事部局)は約1万4千人。プロパーとして政策に精通している道職員を相手に、いかに道民視線で政策を提言していくか。道議会という「伏魔殿」の中で「先生」と言われて浮かれているのは、相手の思う壺。本当の意味での「政治主導」を道議会にも広げていかなければ成りません。初心を忘れること無く、地道に歩を進めたいと思います。





写真で  
見る

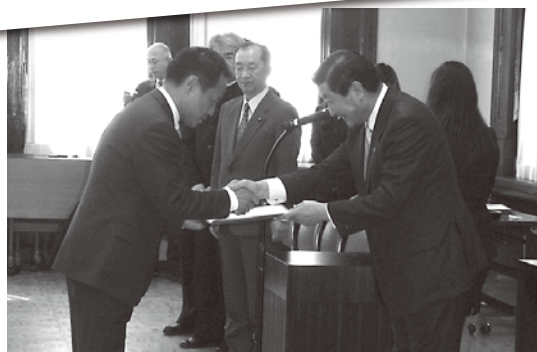
# 活動報告



共に闘った上田市長と木村俊昭氏と



苦しい選挙戦を共にした遊説スタッフ



当選証書授与式



初登庁



出席表に自分の名前が…



初の一般質問は緊張しました

## 『議会改革』について

議員も理事者も、本会議場で一言一句原稿を読み上げる「幼稚園の学芸会のようだ」と揶揄された「答弁調整」。今回の任期からこの「答弁調整」が廃止されました。

最初の質問についてはどのような質問をするか「質問通告」します。そして、その答えをもらう議員も居れば、意見調整をして終わりの議員も居ます。再質問以降は「真剣勝負」。理事者側が再質問の答弁に時間が掛かる光景も見られましたが、問題無いと思います。ただ、知事の答弁に独自性が全く無い！最初の質問の通り、同じ答弁を繰り返すのであれば全く意味がありません。知事自らが、本当に自らの言葉で、自らの考えを述べる。ここまで進化して欲しいものです。

さらに、「海外視察」が一年間凍結されましたし、報酬と政務調査費が各50万円引き下げられました。これはあくまで妥協の産物。民主党としても、決してこれで良いと考えている訳ではありません。しかし全会一致が原則の「議会改革協議会」で有ることをご理解頂きたいと思えます。

まだまだ、定数問題など課題は山積しており、不満の方もいらっしゃるかもしれませんが、まずは第一歩です。